

令和5年度 第3回 引佐北部小中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月12日（木） 13時30分から15時25分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 図工・美術室
- 3 出席委員 鈴木 知成、山本 培代、廣瀬 稔也、池田 信子、五十川 亜純、  
松田 好道、萬立 芳朗
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 小川 誠司（校長）、山下 剛功（教頭）、平田 香織（教諭）、本田 和也  
（教諭）、田力 里枝（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、萬立委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 令和6年度学校運営の基本方針について 校長
- (2) 休日の部活動の地域移行について 校長
- (3) 学校のきまりについて 本田教諭

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度学校運営の基本方針について

- ・学校目標には子供の意見も反映して作り上げるものなのか。（廣瀬委員）  
→大人が付けさせたい目標を子供に示して、子供にも考えさせたい。（校長）
- ・学校目標は誰もが覚えられるわかりやすいものかといいいのではないか。例えば「生き抜く力」。（廣瀬委員）
- ・1～9年生の幅広い子供がいる中で、どのように目標を設定しているのか。（松田委員）  
→グランドデザインにあるとおり、初等部、中等部、高等部に分けて具体的に示している。（校長）
- ・「感性」「自発的に取り組む」「自己肯定感」（五十川委員）
- ・教育目標を全員に浸透させるのは難しい。クラス目標を作るときにそれを含めるようにしていると思う。「自分で考えて動く」のが大切。（池田委員）
- ・シンプルな言葉を決めて、時代に合わせて枝葉で広げていくのがいいのではないか。（鈴木委員）
- ・子供の気づきに大人が働きかけをする。結果よりも体験を重視したい。（廣瀬委員）。

## (2) 休日の部活動の地域移行について

- ・現在の4年生以下の人数が少ないので、大会の出場が難しくなる。週末の部活動は令和8年度後半から地域移行にしていく。浜松市は地域が広いので、一律の方針が出しにくい。(校長)
- ・野球チーム(他小学校からも参加あり)の体験会を開く。(鈴木委員)
- ・中山間地の状況を文部科学省はどう考えているのか。学校として、部活は子供を教育する上で必要不可欠なのか、そうではないのかが重要。地域移行になっても学校の施設は使わせて欲しい。(廣瀬委員)
- ・総合運動部(案)の中にバレーや卓球を作る事を提案。部活なし=自由と捉えると無駄に遊んでしまいそう。(五十川委員)
- ・部活をやりたい子供が困らないシステムになるといい。(山本委員)
- ・体力低下が心配。「試合をしたい」という気持ちを持つ子供が出てこないだろうか。(池田委員)。
- ・部活動は人作り。部活動の地域移行は先生の働き方改革から始まっているようだが熱心な先生は休日返上で動いてしまう。学校の顧問と地域クラブの外部指導者との間に考え方の開きが出ると問題。(松田委員)
- ・学校の考え方を表してもらい必要がある。子供たちがやりたいと思う環境を作ってあげたい。浜松市の方針が分かりにくい。(鈴木委員)
- ・部活が子供の教育上、必要なものであるならば、学校の特色にもなるので、eスポーツ部はどうか。浜松にはチャンピオンがいるし、オンラインで活動できる。(廣瀬委員)

## (3) 学校のきまりについて

- ・マナーを守ればルールは要らないことを子供たちに分かってほしい。細かい持ち物に対して学校としての決まりがなく、先生によって善し悪しが分かれるので保護者が困ることがある。(五十川委員)
  - ・集団生活にルールは必要。(池田委員)
  - ・中学生女子の自転車通学は制服か(スカート)。(山本委員)
- 基本的には制服。(本田教諭)
- ・放課後子供教室にもルールがあるが、守られないこともある。ひとつひとつ理由を説明していく必要がある。(萬立委員)
  - ・昔と比べるとやさしい(分かりやすい)ルールになっている。(松田委員)
  - ・お互いが納得して生活するのが大事。(鈴木委員)
  - ・きまりは常に見直しを図っていききたい。委員にも知っていただきたい。(校長)

## 12 その他

- ・次回は11月14日(火)13時30分から開催する旨の連絡があった。